

しみずクリニックふさ ふさからの便り



世界がブルーに染まる日<11月14日世界糖尿病デー>



東京タワー



東京駅北口



東京都庁

世界の糖尿病人口は4億1500万人にもものぼっており、中でも、日本が位置するアジア地域での増加は深刻で、全世界の1/3の糖尿病患者が集中しています。我が国において、糖尿病と強く疑われる人と可能性を否定できない人の合計は約2000万人にのぼり、早急な対策が迫られています。

11月14日はインスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、画期的な糖尿病治療の発見に敬意を表し、この日を糖尿病デーとして、全世界で糖尿病啓発キャンペーンを繰り広げられています。糖尿病の予防や治療継続の重要性について改めて考えてみましょう。（公式HPより抜粋）



鎌倉大仏

なぜブルーの輪なの？

青色が世界共通の「青空」と団結を表す「輪」がモチーフになっています。糖尿病のために団結しましょうということなのです。



京都五重塔



しみずクリニックふさ

祝！
ふさクリニック 5周年

2012年10月1日浦和美園イオンショッピングセンター近くに母の名前ふさをもらい、ブドウの絵をシンボルマークとし、糖尿病と循環器を専門とする“お花に囲まれたクリニック”として、はや5周年を迎えました。

振り返ると、5年間で糖尿病診療が様変わり。クリニックの診療も大きく変わりました。メタボ型の糖尿病が増加し、お薬もDPP4阻害薬、GLP-1アナログ、SGL T12阻害薬、長時間作用型インスリンなどが新たに加わり、自己血糖測定もSMBGから痛い思いをしないでいつでも測れるFGMの時代を迎えました。I型にはインスリンポンプが味方し、低血糖を起こさずに良いコントロールが目指せるようになりました。

しかし、糖尿病の克服には、食事と運動が基本であることには変わりはないようです。運動療法を強化すべく2015年“ロコモステーションふさ”を併設し運動療法を実践するなか、糖尿病の改善のみならず、元気はつらつとされる姿に驚きます。皆さん、糖尿病とじょうずにつきあって、健康長寿をめざしましょう。

(医)ふさの会 しみずクリニックふさ 清水禮二